

松江市立天文台～5月の天文教室～

平成28年 5月11日

～5月中旬午後9時頃の星空



日没が遅くなり、午後8時でもわずかに明るさが残るようになりましたね。
夜空は春の星座が真っ盛りで、北斗七星、しし座、おとめ座、うしがい座などが見られます。
しし座にある木星は、望遠鏡で表面のしま模様や、ガリレオが発見した4つの衛星を観察できます。
その木星が西へ傾くころ、東からはさそり座とともに火星と土星が姿を現わして、夏の訪れが近いのを予感させます。

5月中旬午後9時頃の星空です。
月、木星、火星及び土星の位置は5月11日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、三日月から1日過ぎた月齢4です。
月の暗い部分を注意して見ると、月の暗い部分も少しだけ見ることができます。
これは地球照といい、地球で反射した太陽の光が月に届いたもので、月齢4くらいまで観察できます。



木星

木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約318倍もあります。
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。
天文学者ガリレオ・ガリレイは1610年に、手製の天体望遠鏡で発見しました。

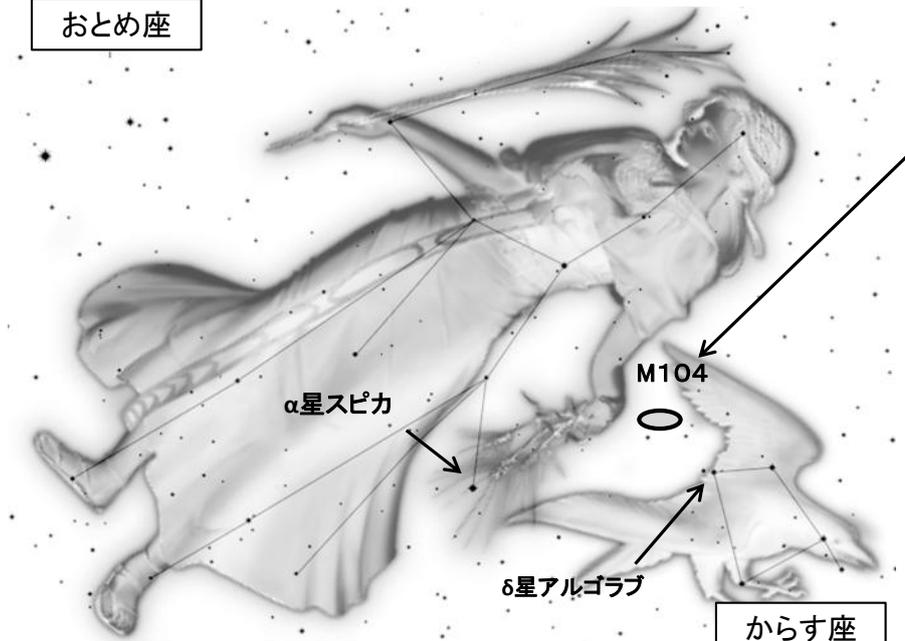
小型天体望遠鏡で見た木星



おとめ座とからす座

おとめ座とからす座は、ともに春を代表する星座で、おとめ座 α (アルファ)星のスピカは白く輝く1等星です。
からす座は小さな星座で明るい星はありませんが、台形の並びが目につきやすく、意外にも古代から知られている星座です。

おとめ座



M(メシエ)104は、おとめ座にある代表的な銀河のひとつです。
6500万光年のかなたにあり、別名ソムブレロ星雲と呼ばれています。
ソムブレロはメキシコのつばの広い帽子のことです。

からす座の δ (デルタ)星はアルゴラブ(からす)という固有名が付けられていて、天体望遠鏡で見ると、3等星と8等星の二つの星に分かれて見えます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 6月8日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会